

7月のコース管理データ

コース名称	札幌GC輪厚コース	レインボーヒルズGC	泉CC	コムウッドGC	三木GC	宇部72CC江畑池	阿蘇プリンスホテルゴルフ場					
グリーンキーパー氏名	梶原 隆司	安藤 義雄	寺町 章	向居 捷洋	的場 幸治	河野 藤男	布山 光孝					
所在地	北海道	宮城県	千葉県	滋賀県	兵庫県	山口県	熊本県					
ホール数	18	18	27	18	27	18	36					
開場年月日	1958/8/12	1992/6/8	1979/9/5	1993/4/25	1973/10/27	2000/11/1	1990/8/5					
標高 (m)	100~132	60	23	258	150	80	555~480					
芝地管理面積 (㎡)	710,000	600,000	690,000	567,369	530,000	365,000	955,577					
その他管理対象面積	44,000	145,000	350,000	433,000	350,000	200,000	858,284					
従業員数	6	8	6	6		8	延べ1365人					
パート・アルバイト	16	2	11	4		8	55					
外注	あり	なし	あり	あり		有(必要時)	なし					
内容	ティグラウンド改造、ハザード改修		年間樹木管理、除草剤散布	樹木管理		樹木維持管理 枯木伐採・コース草刈 簡易土木工事						
気温 (右平年差)	19.3	20.8	-1.3	24.4	-0.4	28.3	0.5	28.3	24.8	1.5		
降水量mm(右平年差)	85.4	161.0	-25.6	103.0	-40.0	333.0		360.7	224.8	460.0	1,290.8	697.8
晴天日数	20		5		8		11		12		10	7
曇天日数	11		15		11		6		9		15	3
雨天日数			11		12		14		10		6	21
降雪日数												
コース管理全般に関して	芝草の生育状態が思わしくなく、フェアウェイの生長調節剤の散布タイミングの決定が難しかった。	コース内は、連日の雨ですっかり水を抱いてしまい、刈り込み作業ができない日が続いている。フェアウェイは晴れ間を見てなんとか刈り込んでいたが、轍や茎刈り箇所が出ている。コウライ、ソシバの生育に関しては今のところ特に問題はないのだが、グリーンは、日照不足とストレスから下葉が黄ばんでいる。炭疽病の疑いもあると思われ、検査に出したところ、やはり炭疽病だった。殺菌剤を散布しているが、もやもやとした病斑が消えない。株腐れ炭疽病かもしれない。	今年の7月は中旬頃が暑く、梅雨に戻ったように雨が降り、月末遅くなって梅雨明けしたという月であった。梅雨明けが遅く、春先からの日照不足の影響もあると思われるが、日本芝については問題なく生育している。ペントについては集中的な降雨もあり、部分的にピシウムを出してしまった。梅雨が明けたことで今後注意したい。ラフとフェアウェイについては、降雨の影響もあり刈り込みができない日が続いた。ラフを伸ばすと害虫も発生しやすく、集客にマイナスなのでカット作業を徹底したい。	今年の梅雨は、静かに始まり、後半に集中的に大雨となった。梅雨末期16日~21日の降雨量が250mmを超え、災害が出なかったことは幸いだった。26日頃より梅雨が明けたと見られ、気温も急上昇で、グリーンの下葉が黄色化、炭疽病、ダラースポット病の発生が見られ、早急に対応する。今のところ、何とか持ちこたえている。コウライ、ソシバについては、ラージパッチの発生が意外と少なかったが、ソシバの刈込間隔が空いてしまったこともあり、葉先が白く見える箇所が多く見られ、ヨトウ虫他の害虫の大発生があるように思われ、要注意。全体的にはフェアウェイ、ラフとも軟弱ではあるが、今のところ大きな問題は無い。	6月から梅雨入りし、7月の初旬は雨が少なく、中旬は雨が少ないものの、曇天が続く。湿度が高く、日照不足気味で経過し、下旬は1週間連続の強雨となった。管理する条件において非常に厄介な天候だった。徒長に対する対策を各場所において再考する必要がある。	プリマックス散布において散布の播きむらが発生した(散布機の故障)。散布した所と散布しない所がはっきり分かれた。今月は月例杯・シニア競技・グラウンドシニア・ミッドシニア・レディース競技があり、あわただしかった。試合前のローラー掛け、そしてホールロケーションの測定・HPポイントの確認など競技優先の作業だった。	先月に続き今月も豪雨の月となった。降雨日数20日、日照時間は僅かに87時間。平年値の74.4%、降雨量は1290.8mmを記録した。特に九州各地にて水害が報告された18日より26日までの連続降水量は805.2mmを記録し、入梅から26日の梅雨明けまでの降水量は1962.4mmとなった。これは昨年の梅雨期間降水量の2.9倍であるが、豪雨による災害は特に発生せず、溶岩大地での良好な排水状況にてプレーエリアで排水不良による問題発生箇所は特に無かった。					
課題・問題点	浸透剤をどのようにすれば上手に使用できるか方法を検討中。	7月に行う予定だった目土が、予想外の降雨により8月までずれこんでしまった。夏場の目土になりそうなので、葉焼けに対する注意が必要だ。	6、7月にかけてチガヤが増え、コース内に目立つようになっている。今後、葉害の問題もあるが、チガヤを抑制し、刈り込みの軽減と美観上の問題を改善したい。コース内の不要な樹木を別予算で伐採しているが、その際に抜根作業をするのが大変なので、切り株を破碎する新しい機械を借りて効率的に進めたい。	26日頃から急激な気温の上昇を見ているが、何か例年とは違う梅雨明けのように感じている。まだ明けられないような、真夏の太陽は無いように思える。月末の31日(月)am11:30頃に24℃を示す温度計を見てびっくり。今後、すごい真夏日が続くと、嫌な予感がする。気象状況等充分注意して夏を乗り切りたい。	グリーンにおいての徒長、軟弱化の傾向は、引き続き問題で、目砂やモアの改造により、どうにかコントロールしている状況であるが、今後もしるいと試行錯誤しながら対処し、解決方法を探りたい。スルーザグリーンでは、前回の散布から1ヵ月も経たない下旬に、強雨が続き、その後にヨトウが大量発生した。今回は金額だけで考えず、異なる系統の殺虫剤を散布したところ、よく効くや、虫に対して、同系統の連続散布は危険だと改めて考えさせられた。	薬剤散布は、機械のトラブルや操作ミスなどに充分注意を払う必要がある。管理機械に熟知した整備者が求められる。人為的ミスをなくすためにも、薬剤散布の散布時間帯、天候の見極めを考えた上、焦らないように調整して問題を起こさないようにしたい。しかしながら、今年の梅雨期間は十分な成果が得られず、すべての作業が停滞し、バンカーの流砂修復作業も来月に持ち越しとなってしまった。また梅雨明け後は乾燥対策に人手を取られるため、梅雨明け後の日本芝の旺盛な生育に、通常の刈り込み作業の進行の遅れも心配な状況で、特にフェアウェイの刈り込みの遅れによる軸刈には十分な配慮が求められる。	例年の梅雨期間には少量の雨が長期間にわたって続くため、計画された業務は比較的順調に進み、少雨の中、各所で細かい部分の芝生の張り替え等の作業を優先し、梅雨明け前に養生が終了する(バスターでコンディションのレベルアップを計ってきた。しかしながら、今年の梅雨期間は十分な成果が得られず、すべての作業が停滞し、バンカーの流砂修復作業も来月に持ち越しとなってしまった。また梅雨明け後は乾燥対策に人手を取られるため、梅雨明け後の日本芝の旺盛な生育に、通常の刈り込み作業の進行の遅れも心配な状況で、特にフェアウェイの刈り込みの遅れによる軸刈には十分な配慮が求められる。					
芝品種	ペント	ペント	ペント	ペント	ニミラ・CY-2	A-2	ペンクロス	トメント	クレンショー	ペンクロス(西コース)		
造成・播種・張芝年	H5年に10面播種。H6年に10面張芝	新しいもので8年、古いもので27年	H3年5月	H3年5月	昭和54年	平成15年4月	平成4年5月	西:H10年張芝、南:H10播種、東:H11年播種	造成1998年4月。播種1999年4月~2000年4月	平成元年3月播種		
刈高 (mm) <メイン:サブ>	3.6	4.0	4.0	4.2	4.2	4.0	4.0	4.0~4.3	4.0	3.7 (2日~4.0mm)		
刈込回数<メイン:サブ>	毎日	28	10	毎日	毎日	毎日	毎日	29	31	32		
更新作業内容	6mmソリッドタイン	7/6~十字タイン、パーティドレン	7/10~十字タイン、パーティドレン	毎日 目砂1回	毎日 目砂1回	毎日 目砂1回	パーティドレン10mmムクタイン、サッチング、目砂、トップドレッシング2回	パーティドレン・ムク刃6mm1回、パーティカル±0mm1回	なし	強グルーミングカット4回、目砂1回(砂厚総計0.26mm)、高圧水土壤深耕1回、十字タインコアリング(17mm x 120mm)1回		
施肥・活性剤・抑制剤等	ScottsハイK	7/7:スーパーコンパニオン0.5cc/㎡、ハイブリッドA0.5cc/㎡	7/1:芝グリーン3g/㎡、リグロース2g/㎡、7/5:腐植元2cc/㎡	N0.21-P1.6-K1.45、微量元素4回	N0.21-P1.6-K1.45、微量元素4回	リカフレッシュ6-4-2を4g/㎡、芝アミ3g/㎡、発酵乳酸カルシウム1000倍	N0.62-P0.48-K0.56(g/㎡)、微量元素2回、酸素供給剤1回、サッチ分解剤1回	7/6:ネオハイグラス4号1g/㎡(15 15 15)、7/12:プリマックス0.125g/㎡、7/15:サンイグル1ml/㎡、7/24:ネオハイグラス3号0.5g/㎡(7 10 26)、アイアンケージ1ml/㎡	7/6:ネオハイグラス4号1g/㎡(15 15 15)、7/12:プリマックス0.125g/㎡、7/15:サンイグル1ml/㎡、7/24:ネオハイグラス3号0.5g/㎡(7 10 26)、アイアンケージ1ml/㎡	施肥4回(N0.82 P0.08 K2.6、Mg4.13、Si1.6)、1回目施肥:高圧水土壤深耕にて有機酸酵素2cc/㎡灌注。2回目施肥:硫酸マグネシウムの施用。3回目施肥:メチレン尿素緩効性力リ8g/㎡の施用。多目的型土壤改良剤40g/㎡の施用。4回目施肥:液体フミン酸+海藻抽出植物ホルモン+液体アミノ酸葉面散布液肥の混用散布。5回目施肥:液体ケイ酸カリ+液体フミン酸+海藻抽出植物ホルモン+液体フミン酸の混用散布。生育抑制剤2回(トJネキサバクエチル10.4%を0.05cc/㎡散布水量300cc/㎡)、2回目は葉面散布液肥を混用		
病害		炭疽病、ピシウムブライト、ブラウンパッチ、ダラースポット	ピシウム、炭疽病	ピシウム	炭疽病、ダラースポット	炭疽病	炭疽病	イエローパッチ、ブラウンパッチ	ブラウンパッチ			
病害程度		炭疽病が酷い			少		少	中				

基礎データ

グリーン

コース名称	札幌GC輪厚コース	レインボーヒルズGC	泉CC	コムウッドGC	三木GC	宇部72CC江畑池	阿蘇プリンスホテルゴルフ場					
グリーン	病害対策	ブラウンパッチ予防散布	7/7:ロブラール0.7g/m ² 、オキシンドー1g/m ² 7/20:ボンジョレノ0.125cc/m ²	7/11:ロブラール0.7g/m ² 、オキシンドー1g/m ² 7/25:ボンジョレノ0.125cc/m ²	殺菌剤2回	殺菌剤2回	殺菌剤散布	ボディーブロー0.5g/m ² 、シバクン2cc/m ² 、プレビクルN1cc/m ²	7/11:ゴレット水和剤2g/m ² 、7/25:トップグラス0.5g/m ²	殺菌剤2回		
	虫害		ヨトウ、タマナヤガ	ヨトウ、タマナヤガ			なし	ツツガ、ヨトウ	シバツツガ	ヨトウ、コガネムシ、ツツガ		
	虫害程度		少	少				少				
	虫害対策		7/20:サニーフールド0.5cc/m ²	7/25:サニーフールド0.5cc/m ²	殺虫剤2回	殺虫剤2回		ダイアジノン乳剤1cc/m ² 、ショットイン0.1cc/m ² 、カルホス1cc/m ²	7/6:スミオン乳剤1ml/m ² 、7/28:ルーバン水和剤0.5g/m ²	殺虫剤散布全面1回		
	雑草		なし	なし				なし	なし	なし	一部にアキメシバ、チドメ	
	雑草程度										少	
	雑草対策		手取除草					なし	なし		手取り除草を実施したいが人手が確保できず	
オーバーシード												
管理メモ			炭疽病がもやもやと全面に発生している	炭疽病がもやもやと全面に発生している			早急な対応の結果、黄色化、炭疽病等も落ちてきている。活性剤の散布で、何とか見られる状態だ			今月は病害虫の発生が多 く薬剤散布の回数も増えた	5月以降、梅雨対策に向けた一連の作業を実施した結果、短時間雨量が非常に多い雨の中で、長時間グリーン上が滞水することなく排水状況は良好な状態を維持する事ができた。 また先月実施のSAP分析の結果により施肥計画を変更した事で、今月の分析結果は正常なレベルに戻っており、8月の分析結果も同様の結果が期待される。また連日の降雨により殺菌剤の施用タイミングの遅れによる病気の多発と梅雨明け後の土壌水分の状況変化の判断を誤り乾燥害を多発させた。夏に向けて大きな負荷を負い、長い高温期を迎えるにあたり厳しいシーズンを覚悟しなければならない状況である	
ティグラウンド	芝品種(左:レギュラータイ、右:バックタイ)	ベレニアルライグラス	ベレニアルライグラス	コウライ	一部ミッドサイト	ブルーグラス	コウライ	コウライ	コウライ	ベレニアルライグラス(アップロード)【ベース:ティフン】	コウライ、一部ベレニアルライグラス	
	刈高(mm)	10.0	10.0	10.0	10.0	13.0	10.0	10.0	13.0	10.0	暖地型芝8mm、寒地型芝10mm(24日~12mm)	
	刈込回数	1日置き		6	7	4	4	6	5	7	6	
	更新作業内容	ショートホールへの播種		7/3:パーチドレン	7/3:パーチドレン	なし	目砂1回	目砂(レギュラータイ)	なし			目砂1回(砂厚1.2mm)
	施肥・活性剤・抑制剤等	ScottsハイK	ScottsハイK	なし	なし	N0.06-P0.62-K0.56、微量元素剤3回		なし	プリマックス0.05cc/m ²			寒地型芝:施肥2回(N3.5-P3.5-K5.61) 暖地型芝:施肥1回(N3.5-P3.5-K1.75)
	病害			犬の足跡	犬の足跡	炭疽病	葉枯れ病	なし		犬の足跡	フェアリーリング	なし
	病害程度			少						少	少	
	病害対策	ブラウンパッチ予防	ブラウンパッチ予防	7/3:タフシード1cc/m ²	7/3:タフシード1cc/m ²	殺菌剤2回	殺菌剤スポット散布		様子を見る		近い内に薬剤散布予定	なし
	虫害			タマナヤガ、ヨトウ、コガネ虫	タマナヤガ、ヨトウ、コガネ虫	なし	なし	ミス、アリ	ヨトウ	なし	なし	一部にツツガ
	虫害程度			少	少				少	少		
	虫害対策			7/3:フルスウイング0.2g/m ²	7/3:フルスウイング0.2g/m ²	殺虫剤2回	殺虫剤1回	なし	ショットイン0.5cc/m ²	なし		殺虫剤スポット散布500m ²
	雑草			ハマスゲ、ヒメグサ	ハマスゲ、ヒメグサ	なし	なし	チドメグサ	カヤツリ科雑草	コニシキソウ		一部にチドメ、カヤツリ
	雑草程度			少	少				少	少		少
雑草対策			インプールのDF0.03g/m ² スポット散布	インプールのDF0.03g/m ² スポット散布				様子を見る		近い内に除草剤散布予定	なし	
オーバーシード	ベレニアルライグラス									ベレニアルライグラス(アップロード)		
管理メモ			若干、犬の足跡が出ているが、今のところ問題はない							コニシキソウの株を大きくしない内に枯らしたい	春先からの日照不足による生育不良も計画の前倒しによる施肥により、梅雨明け後には、ほぼ例年に近い状態となり、今後の気温の上昇とともに更に充実した状態のターフが作られる事を期待している。 一部のホールにおいてティの南側後方にある杉の木が日射を遮り、芝生のコンディションが不良状態となっている。日射を遮る木を伐採すれば芝生のコンディションは解決するが、打球事故防止のために植えられたため撤去は難しく、この部分については別途管理が必要と思われる	
フェアウェイ	芝品種	ベレニアルライグラス	コウライ		コウライ		コウライ	コウライ	コウライ	ベレニアルライグラス(アップロード)【ベース:ティフン】	フソウコウライ	
	刈高(mm)		13.0		16.0		13.0	15.0	13.0~15.0	10.0	13.0	
	刈込回数	1日置き			6		5	5	7	8	5.7	
	更新作業内容			なし		なし		スーパード	なし		目砂3000m ²	
	施肥・活性剤・抑制剤等	ミニトロフォーム		なし		なし		なし	プリマックス0.05cc/m ² 、ピオロック0.04cc/m ² (特定のホールのみ)	なし		施肥4ホール散布(残りホールは来月へ繰り越し)N3.5 P3.5 K3.5
	病害			ラージパッチ		葉枯れ病		ヘルミトスポリウム	なし			一部にラージパッチ病
病害程度			少				少					

コース名称	札幌GC輪厚コース	レインボーヒルズGC	泉CC	コムウッドGC	三木GC	宇部72CC江畑池	阿蘇プリンスホテルゴルフ場
病害対策	ブラウンパッチ予防	なし		殺菌剤散布	なし	なし	スポット施肥3200㎡
虫害		なし	ミズ	ミズ	ヨウ	なし	なし
虫害程度				少	中		
虫害対策		なし	殺菌剤スポット処理	なし	リラクDF0.15g/㎡全面散布	なし	なし
雑草		ハマスゲ、ヒメクダ	なし	なし	ヤハズソウ	チトメグサ	一部にチトメ、カヤツリ
雑草程度		少			少～中	少	少
雑草対策		インブール0.03g/㎡をスポット散布			スコリテック0.3cc/㎡部分散布		なし
オーバーシード						ペレニアルライグラス(アップロード)	
管理メモ		無理をして刈込みを行ったため轍ができ、軸刈りになったところがある		軟弱であるが、刈り込みを指示。刈り込み後にステールマットを引いてサッチを散らす	下旬の連続雨天により、コース内への立ち入りが厳しくなる中で、刈り込みと集草は大変である	チトメグサの2回目防除を、天候を見て散布したい	月初めの降雨期間中に一部ホールにラージパッチの動きが見られたが、10日以降の真夏日で動きが停止した。 連日の豪雨により、近隣のコースではフェアウェイの刈り込み作業が実施できないと悲鳴が聞こえてきたが、当ゴルフコースでは通常通りの刈り込み作業が実施できた。排水能力のお陰であると改めて認識し、ゴルフカートの走行も長期にわたる規制を実施せず対応できた。例年梅雨明け前に実施する施肥は、タイミングを見逃し、来月への持ち越し作業となった。来月下旬には目砂の散布を予定
芝品種	ペレニアルライグラス	ノシバ	ノシバ	ノシバ	ノシバ	ノシバ	ノシバ
刈高(mm)	25	50	50	40	50～55	40	40
刈込回数	7日置き	2	適宜	3	4	毎日(日曜日は除く)	Aラフ1.9回、Bラフ0.5回
更新作業内容		なし	なし		なし	なし	なし
施肥・活性剤・抑制剤等		なし	なし	なし	ブルーマックス0.05cc/㎡(グリーン周辺ラフ)	なし	なし
病害		ラージパッチ	なし	ラージパッチ	ラージパッチ	なし	一部でラージパッチ病
病害程度		少		少	少		
病害対策		なし		殺菌剤スポット散布	回復を待つ	なし	なし
虫害		なし	ヨウ	ミズ、ヨドムシ	ヨウ	なし	なし
虫害程度				少	中		
虫害対策		なし	殺菌剤スポット処理	なし	ショットガン0.5cc/㎡、リラクDF0.15g/㎡	なし	なし
雑草		ハマスゲ、ヒメクダ、広葉雑草	なし	広葉雑草、ヒメクダ、ヤハズソウ	ヤハズソウ、カヤツリ科雑草	チトメグサ	一部にチトメ、カヤツリ
雑草程度				少々	中	中	中
雑草対策		インブール0.03g/㎡と一本締0.2cc/㎡をスポット処理	なし	除草剤散布	検討中		刈り込み、手取り(ライグラス株)
管理メモ	部分的に播種を実施	刈込みができずどうしようもない、サッチの回収が問題になりそう		軟弱で刈り込みしにくい状態で、間隔が空いてしまう	刈り込みと集草に追われ、虫害、雑草対策が後手に回る	チトメグサは天候を見て除草剤処理したい	降雨による作業日数の減少により、刈り込み作業が遅れ気味で、特に人手に頼るバンカーマウンドの刈り込みが手付かずとなっている。早急な対応が望まれる。またカヤツリを筆頭に各種雑草の繁茂が著しく、梅雨明け後の除草剤散布が必要であると認識される。月初めにネムノキが開花し、20日過ぎにクマノミズキが開花し、春のコブシに続く自然木での花が終わり本格的な盛夏が始まった